



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思ひます。  
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合つてほしいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。  
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思ひます。  
よろしくお願ひいたします。

## ★資料名

「それって、おかしいよ」

## ★今回の道徳の授業のねらい

よいことと悪いことを区別し、よいと思うことを進んで行おうとする心情を育てます。

## ★お話のあらすじと内容

学校の回転滑り台、今日の休み時間は1年生が使ひます。みんな並んで順番を待っていますが、仲良しのまさくんは1回滑ると、前のほうに割り込んでまた滑っています。そして「ぼく」の前に来て割り込もうとしたので、「ぼく」はしっかり拒否し、まさくんの態度を改めさせるという内容です。

正しいと思つたこと、よいと思つたことをやり抜こうとする気持ちはだれもがもっていますが、恥ずかしさやためらいなどがじゃまをして、なかなか実行できない現実があります。こうした気持ちを乗り越えて行動しようとする心を育てる教材です。

## ★子どもたちの授業の振り返り

もし、友達が間違つたこと(例えば、教材のお話のような割り込み)をしていたら、自分ならどうするか考えました。

- ・「だめ。ちゃんとならんで。」と言う。    ・「だめだよ。」と言って、入れさせない。
- ・ぼくは、注意する。注意できる。    ・「だめだよ。それはいけないことだよ。」と注意する。
- ・わたしは、勇気を出して「だめ。」と言う。

子どもたち全員が「注意する」または、「注意したい」と考えることができ良かったのですが、実際の場面では勇気のいることだと思ひます。実践できることを期待します。

## ★家庭で話し合つてほしいこと

普段は、自己中心的な考え方や行動をとる1年生の子ども達も、この時期、そろそろ学校や学級の生活の中で、自分がどんな行動をすべきなのか、どうすることがよいことなのかを考える力がついてきています。

正しいと思つたこと、よいと思つたことを積極的にやり抜こうとする気持ちは、人間にとってたいへん大切なことです。そのため、日々の生活の中で、ご家庭でのお手伝いや、お子さんの些細な良い行いなどを見逃さないようにして、「ありがとう」「がんばっているね」「それでいいんだよ」などと声がけをし、積極的にやり抜こうとする気持ちの励みや自信につなげるようにしたいものです。そして、自分がよいと思うことに進んで取り組む気持ちを育てていきたいと思ひます。